



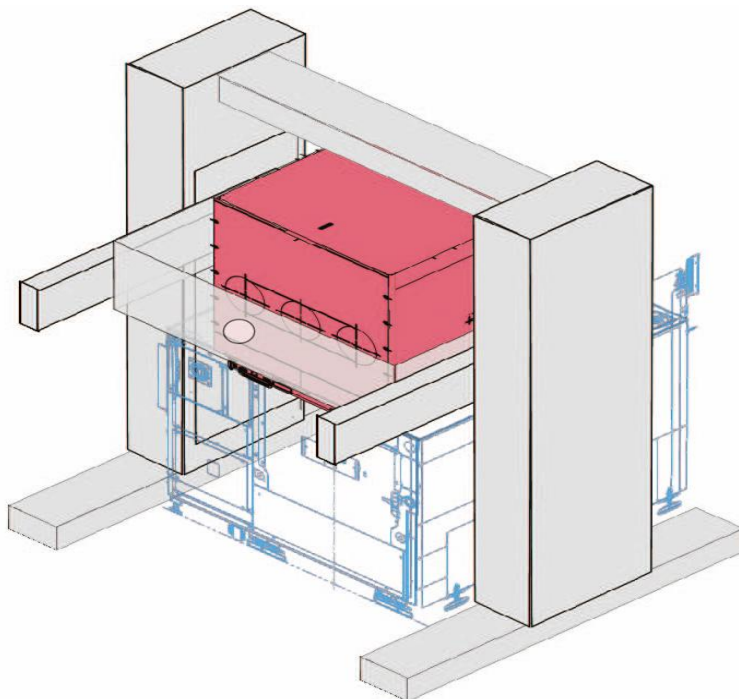
SUNTO
TECHNOLOGIES | サントテクノロジー

令和6年7月18日(木)

仕様書

テストヘッドスタンド (プローバー用)

MODEL : SF-4103



サントテクノロジー株式会社

〒208-0034 東京都武蔵村山市残堀 1-103-20

電話 : 042-520-1121

FAX : 042-520-1125

1. 概要

本機はLSIテストシステムのテストヘッドを水平(上向き)から180° 反対方向(下向き)に回転させて、プローバとドッキング(接続)させる為の装置です。

2. 特徴

各種LSIテスターのテストヘッドを水平状態(PBトップは上向き)からプローバとのドッキング位置まで上昇させて、テストヘッドを下向き状態(PBトップが下向き)に回転させ、プローバと

の

ドッキング位置までテストヘッドを下降させて、X、Y、Z、 θ 方向と傾き(プローバに対しての傾き)を*自動位置合わせ機構で調整しながらドッキングがします。

(*当社の特許技術を使用しています)

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| ①適応テスターメーカー | : 各種LSIテスター |
| ②テストヘッドの搭載重量 | : 400~1,000kgs |
| ③Z(上下)方向可動ストローク | : 約800 mm (電動) |
| ④TUMBLE 角度回転範囲 | : 0~180° + α (電動) |

プローバと接続した時のテストヘッド底面(上側)と床面との間隔は1,800 mm です。(参考値)

テストヘッドの高さ設定は、タッチパネル上で行います。

テストヘッドはベース部のLMガイド上に搭載されています。パフォーマンスボードの交換、又は保守時(プローバも含む)にはテストヘッドスタンドのタワー部がプローバの側面から離れる為、パフォーマンスボードの交換やテストヘッド(テスター)の保守作業を簡便に実施できます。

為、

テストヘッド(水平時)の重心位置が上下昇降機構の中心になる構造と*自動位置合わせ機構で位置決めしてあるので前後の傾きが生じません。

で

テストヘッドスタンドとプローバを固定する必要がある場合は指示願います。

テストヘッドスタンドの上下機構は台形ねじを使用しているため、テストヘッドは自然に下降することはありません。

る

3. 仕様

寸法(参考値) : 2,080 mm(幅)
1,800 mm(奥行き)
2,060 mm (高さ)

テストヘッド TUMBLE 回転範囲: 水平状態 \sim 180°

テストヘッド架台駆動方式 : 電動

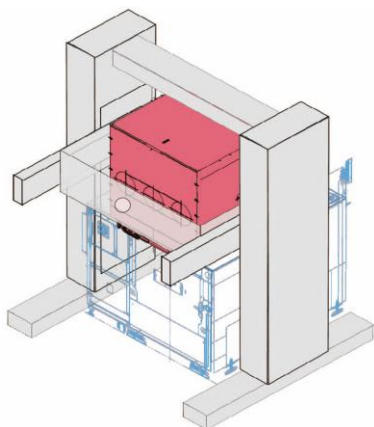
最大搭載重量 : 400~600kgs

600~800kgs

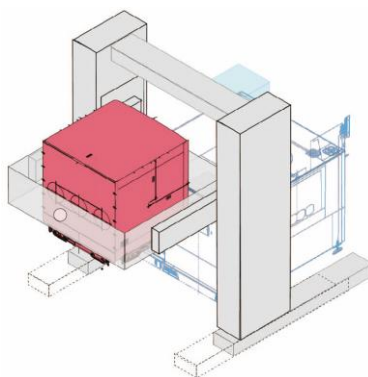
800~1,000kgs

4. 動作

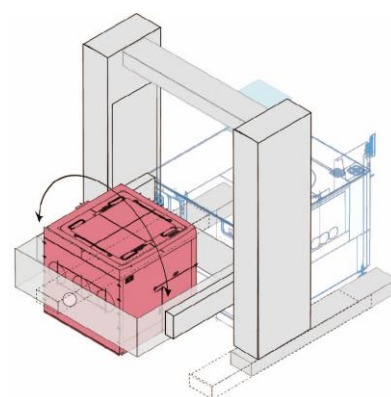
測定状態



PB交換位置へ移行中



PB交換/保守位置



以上